



あゆむ会



〒326-0141
 栃木県足利市小俣町3294番地2
 児童養護施設「イースターヴィレッジ」
 「イースターヴィレッジと
 ともに歩む会」
 TEL 0284-62-3501
 FAX 0284-62-6610
 info@easter-village.or.jp

あなたがたは、布にくるまって飼葉桶の中に寝ている乳飲み子を見つけるであろう。
 これがあなたがたへのしるしである。(ルカ2・12)

クリスマスおめでとうございます。

降誕祭は幼子イエスの誕生のお祝いです。聖書はインマヌエル、すなわち「われわれと共にいる神」と言っています。2千年前、ユダヤの小さな町ベツレヘムにイエスがお生まれになった時、若い両親、羊飼いたち、そして、夜空に現れた星に導かれて遠い国から来た博士たちの他には誰もその誕生を祝いませんでしたが、今、世界中では24億もの人たちがわれわれと共にいる神の誕生を祝っています。

私たちは毎年12月に入ると教会を飾ります。庭の木にはライト、それから馬小屋を、真ん中に幼子イエスを迎えるための飼葉桶を置きます。それを見るたびに、ある出来事を思い出します。調布の神学院の院長だった(2004-2009年)ある年、12月の第2の土曜日でした。私は2階のオフィスの窓ガラスを掃除していました。窓の下に古くて小さな2本の松がありました。その下で、ベトナムの神学生たちが藁の屋根の小屋を作りました。その中には聖ヨセフと聖マリア、羊飼いたちと三人の博士、羊と一匹の牛がいました。突然一人の子どもが叫びました。「院長さん、院長さん、誰かが幼子イエスを盗んだよ！ ゆりかごの中に赤ちゃんがいない！」私は笑いながら大喜びで言いました。「心配しないで。幼子はここにいません。まだ生まれていないのですから。」「思い出してください。クリスマスは24日の夜ですよ。」彼らは私に言いました。「院長さん、私たち、それを知りませんでした。だって、先週の日曜日に教会の子どもたちとクリスマス会をし、院長さんはサンタクロースになって私たちにプレゼントをくださいましたから。今日、大事なことを知りました。イエスさまはまだお生まれになっていないこと、絶対に忘れません。」

来年のカレンダーにもイースターの子どもたちが描いた絵があり、絵のそばには桐生のクラウ会のススターたちの助けによって私が考えたメッセージが書かれています。そのカレンダーを見ながら、いつか生きた神の現存を発見するよう、皆さんを招きます。

いつも子どもたちに寄り添い、神が望まれている、イースターヴィレッジの大切な仕事を支えてくださっている「歩む会」の皆さまに感謝します。これからも皆さんの祈りと様々な助けによって、イースターヴィレッジにいる子どもたち、そして卒業して進学する子どもたちをこれからも支えてくださいますようお願いいたします。

新しい年の始まりに当たり、皆さまとご家族を、幼子イエスが祝福して下さいますように。

2023年 (社会福祉法人) イースターヴィレッジ 理事長 山野内 倫昭

今年もよろしくお願い申し上げます

社会福祉法人「イースターヴィレッジ」

理事長 山野内 倫昭 理事・監事・評議員一同

児童養護施設「イースターヴィレッジ」

児童養護施設「イースターヴィレッジ」分園「丘の家」

地域小規模児童養護施設「谷の家」(グループホーム)

地域小規模児童養護施設「円いの家」(グループホーム)

施設長 菊地 廣光 職員一同・子どもたち

「イースターヴィレッジとともに歩む会」

会長 川田 秀幸 幹事・役員一同



2023

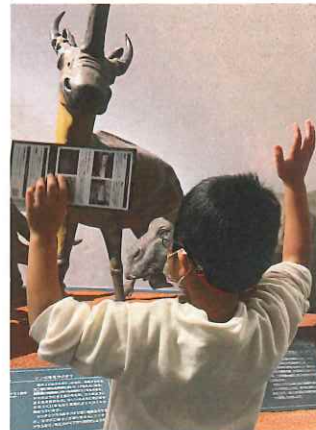
イースター全体旅行

11月19日、今年は絶好の行楽日和！今年も子どもたちに希望を取り、3か所に分散、感染症対策を行いながら、施設全体旅行に行ってきました。



足跡が初めて発見された地域！ 恐竜センター

恐竜のガイドがわかりやすく、特にタルボサウルスの展示が大きくてすごかったです。アンモナイトの制作が楽しく、お土産もアンモナイトの化石を買いました。昼食で食べたハンバーガーも美味しかったです。また来年も行きたいです。(Y・K 中3年)



タルボザウルスとサウルス君が面白かったです。恐竜の博士が動いたり、喋ったりして楽しかったです。また行きたいです。(S・U 小2年)



私は今回が初めての全体旅行でした。恐竜センターでは、レプリカ制作体験や迫力のライブシアターの鑑賞など、普段できない体験を子どもたちとすることが出来、とても貴重な一日となりました。子どもたちも化石や標本などに興味を示し嬉しそうに見学しており、笑顔をたくさん見ることが出来ました。ありがとうございました。(職員 寺本咲良)

リニューアルした！西武園ゆうえんち

銭天堂のアトラクションは、他のグループよりも最初に見つけることができ、一番に体験できました。ゴジラのアトラクションは、映像がリアルで迫力がありました。一番おもしろかったし、一番酔った乗り物です。バイキングも楽しくて、合計3回乗りました。久しぶりに本体の職員さんとも話ができてとても良い思い出になりました。(Y・M 小5年)



いつも関わっている職員とは離れて、本体で昔お世話になった職員や初めて話す小さい子とアトラクションを回りました。小さい子のワイワイとしている所を見て、昔の小さい時の自分を思い出し、とても和やかな気持ちになることができました。ゴジラのアトラクションに乗り、とても面白かったです。次は関東から離れた場所に行きたいです。(Y・S 高2年)

程よい込み具合で、並ぶ時間もなくてアトラクションに乗ることが出来ました。私は普段、小規模児童養護施設「谷の家」で勤務しています。今回は本体の関わりの少ない子どもたちと回ることにりましたが、本体の話を聞きくこともでき、楽しく遊べました。全体旅行では違う部署の子どもたちと関わる貴重な機会でもある為、今後も楽しみにしたいと思います。(職員 平 右京)

小規模児童養護施設「谷の家」で勤務する私にとって、沢山の子供たちと関われる全体旅行はとても貴重な時間でした。

アトラクションでは、今子どもに流行りの「銭天堂」、迫力ある映像でその世界観に引き込まれる「ゴジラ・ザ・ライド」がとても印象に残っており、童心に帰りながら子どもたちと盛り上がりました。子どもたちは一日中元気いっぱい、純粋な笑顔を見ると、つい張り切ってしまいます。お陰様でコーヒーカップで非常に気持ち悪くなった私でも、一日を無事終えることができました。(職員 内田有人)

日本でトップクラス！ アクアワールド

今年もグループに分かれて行きました。水族館で沢山食べ物を食べました。例えばアイスだったり、ジュースだったりマグロ丼だったり満腹になるまで食べました。すごくおいしかったです。また、お土産もたくさん買いました。色々悩んだ中での買い物だったので楽しい時間を過ごせました。タレントになつたような気持ちでした。また機会があったら行きたいです。



(M・Y 高2年)



おさかながたくさんいた。くじらがいたのがたのしかった。まんぼうのぬいぐるみのおみやげをかった。またいきたい。

(M・S 年少)

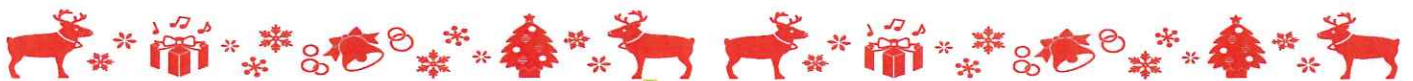
いるかがかわいくて、さわったのもかわいかった。ばすにのっておでかけできてうれしい。つぎはゆうえんちにもいってみたい。(H・A 年少)

天気も良く、海が綺麗なのも印象的でした。迫力満点なアシカ・イルカショーも観ることができ、子どもたちと一緒に楽しみとても良い思い出となりました。子どもたちの沢山の笑顔を見ることが出来て嬉しく思います。(職員 長井寧音)

尊氏マラソンに参加しました！

11月6日、尊氏マラソン大会で10kmコースに挑戦しました。2年ぶりの挑戦のため、5月から目標として頑張りました。暑い夏休みも最高で20km走りました。その結果、辛いよりも楽しかったです。今から来年に向けて、筋力トレーニングや坂道ダッシュをして頑張っています。

(F・U 高2年)



イースターの クリスマス



今年のクリスマスは、ユニットごとに外出、外食を行い、23日にクリスマスディナー、24日にクリスマスケーキを食べました。また、24日にはクリスマスブーツの寄付もいただきました。この経験が子どもたちにとって、幸せなクリスマスプレゼントになってくれることを願います。(職員 津久井敬太)

クリスマスの外出 (買い物・外食)



12月3日にクリスマスの買い物と外食に行きました。買い物は太田のイオンに行き、ゲームキャラの本を4冊買いました。外食ではココスに行き、チーズフォンデュのココットハンバーグとグラスパフェマカロン・ストロベリー、ポテトを食べました。ハンバーグは野菜も付いており、チーズと合わせたらブロッコリーが一番美味しかったです。パフェのマカロンが甘酸っぱく、他が甘かったのでとても美味しかったです。来年もコロナが落ち着いていたらまた行きたいです。

(Y・N 高1年)



栃木県福祉施設文化祭—作品展—



高1年男児の絵画(右)が県知事賞「金賞」、中3年男児の切り絵(左)が県知事賞「銀賞」を受賞しました。

11月12日～23日、栃木県子ども総合科学館にて、「栃木県福祉施設文化祭作品展」が開催されました。児童虐待防止月間に合わせ、その啓発活動として一般公開もされました。より広く、子どもたちの作品を来場した沢山の方々に目にしてもらい、社会的養護に関心を持ってもらう意義深い機会となりました。子どもたちが思い思いに作った力作、自由な発想や表現、メッセージ溢れる作品を通して、心豊かに成長している子どもたちを見ることができました。(職員 柿沼奈緒)

自分が一生懸命描いた絵が金賞を受賞できて、とてもうれしく思います。この受賞で得た自信で、これからもっと挑戦していきたいです。(S・H 高1年)



七五三を祝う会

今年度も無事に男児3名、女児1名の計4名が、七五三を迎えました。笑顔で着物を着ている写真を見て、大切な節目に立ち会うことが出来た喜びを感じました。皆で一緒に成長を祝えたことも、大変嬉しく思いました。(職員 河田奈津美)



しゃんとするのはドキドキした。あかとくろのきものをえらんで、かっこいいポーズをした。たのしかった。

「しちごさんおめでとう」をみんなにいってもらってうれしかった。

(R・H 年中)



会員募集中

『イースターヴィレッジとともに歩む会』(後援会)

年会費 個人年会費 一口 3,000円
法人年会費 一口10,000円
(どちらも何口でも、また、この金額以外でも可能です。)

※なお、会員には広報誌「あゆむ会」をお贈りします。

詳細については、パンフレットを用意いたしましたので、お問い合わせ下さい。

※年度切り替えのため、4月から新年度になります。引き続きご支援のほどよろしくお願いいたします。

郵便振替口座：00100-3-555049

「イースターヴィレッジとともに歩む会」

※なお、振込にての領収書は郵便振替受領証に代えさせていただきます。

『イースターヴィレッジとともに歩む会』は、皆様方の善意をいただき、イースターで生活している、または卒業した子どもたちに物的・精神的援助を行っていくことを趣旨としている後援会です。この会の趣旨をよくご理解いただき、賛同して下さる方々を募集しています。



編集後記

2022年は冬期オリンピックから始まり、サッカーワールドカップと、スポーツで大いに盛り上がった1年だったと思います。つついスポーツだと子どもも大人も熱くなっていますが、一緒に同じものを観て同じ時間を共有することはとても大切なことだと感じています。マスク生活が続いていますが、行動制限も緩くなって以前のような外出やイベントもできるようになってきました。コロナと共存することが普通だと感じてしまう毎日ですが、子どもたちと新たな発見や気づきを大切に、日々を過ごしていきたいと思います。今年もよろしくお願いいたします。

(しほ・たか・あすか・かおり・ゆうと)

☆ ご質問等ありましたら児童相談所及び栃木県こども政策課へお問い合わせもできます。